

## 第4章 施策の推進方策

### I 市町村との連携

「第2次福岡県自転車活用推進計画」の推進にあたっては、地域によって異なる自転車の通行環境等の現状を踏まえたうえで、住民に最も身近な基礎自治体である市町村としっかり連携を図ることが重要です。

本計画に掲げる諸施策についても、地域の実情に応じた効果的な自転車の活用を推進するため、市町村と連携を図りながら取り組んでいきます。

### II 関係機関との連携

自転車の活用推進により期待されるCO<sub>2</sub>の削減、健康増進、観光振興といった効果を広く県内に取り込んでいくため、行政機関のみならず、環境、健康、教育、スポーツ、観光、交通といった様々な分野の事業者、関係団体等と連携のうえ、地域の実情に応じた自転車活用施策を推進していきます。

また、自転車を活用した地域活性化の取組を九州・山口を挙げて推進することで、さらなる九州・山口への人流の活性化や経済効果を図っていくため、「九州地域戦略会議」等、九州・山口各県の経済界や行政機関等で構成される組織を十分活用し、国をはじめとする行政機関とも連携しながら、九州・山口が一体となった自転車活用施策の推進に取り組んでいきます。

### III 成果の検証と新たな施策の検討

県内の交通関係事業者、有識者、行政機関等で構成する「福岡県交通対策協議会」において、本計画に掲げた取組の進捗状況や成果を検証し、必要に応じて、新たな取組や指標の検討を行うといったPDCAサイクルにより、実効性を高めていきます。